

おだがいさま

odagaisama

第 32 号
平成 23 年
1 月 15 日発行

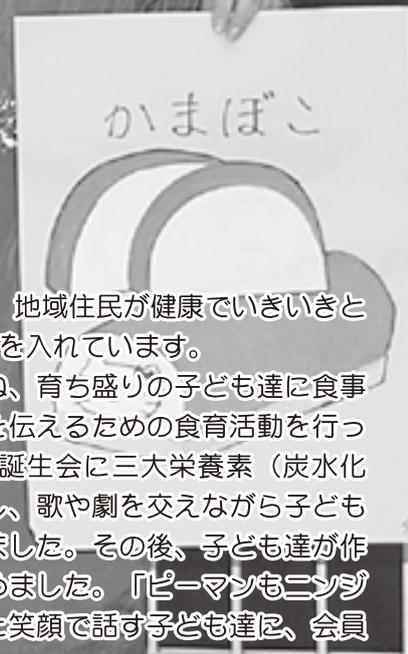
なんでも食べて
お〜きくなるよ♪

地域福祉実践活動で表彰 (P2~3)

会長 年頭のごあいさつ (P3)

「地域福祉活動計画」
ただ今策定中 (P4~5)

情報掲示板 (P6)



鶴岡市食生活改善推進協議会 櫛引支部では、地域住民が健康でいきいきと生活できるように、食生活の改善普及事業に力を入れています。

今年度は、櫛引地域の児童館や保育園を訪ね、育ち盛りの子ども達に食事の楽しさやバランス良く食べることの大切さを伝えるための食育活動を行っています。この日は、くしびき東部保育園の誕生会に三大栄養素（炭水化物・タンパク質・脂質）に扮した会員が登場し、歌や劇を交えながら子ども達に好き嫌いなく食べることの大切さを伝えました。その後、子ども達で作った『さつまいも餅』を一緒に食べ交流を深めました。「ピーマンもニンジンも何でも食べるよ。」「お魚も大好き。」と笑顔で話す子ども達に、会員の皆さんも目を細めていました。

おめでとう
ございます!

鶴岡市内の福祉関係団体

地域福祉実践活動で表彰

今年度、県内・東北各地で開催された福祉大会などにおいて、永年にわたり地域福祉活動を実践してきた団体がその功績を讃えられ表彰されました。鶴岡市でもたくさんの団体が表彰を受けましたので、その中から三つの団体の活動を紹介します。

山形県老人福祉大会 知事感謝状

鶴岡地域「黒川中区老人クラブ」

山形県老人クラブ連合会では、豊かな知識や経験をもつ仲間の活動を紹介しながら、高齢者福祉の向上と県内老人クラブ活動の発展のため、毎年、県内各地で『山形県老人福祉大会』を開催し、老人クラブ活動に尽力した個人・団体や老人福祉施設等に永年勤務した方などを表彰しています。

今年度は、十月二十日に鶴岡市文化会館を会場に行われ、鶴岡市からも多くの方々が表彰されました。その中から、社会福祉（地域）活動が特に顕著な老人クラブとして山形県知事感謝状が贈られた鶴岡市老人クラブ連合会鶴引支部 黒川中区老人クラブ『友愛会』（蛸井久治会長・会員四十四名）を紹介します。

黒川中区老人クラブ『友愛会』は、永年に渡って、地域の子どもたちの登下校を見守る『見守り隊』活動や地域の花である『サルビア』の定植、子供会育成会と共同で取り組んでいる『ヒ

メイワダレ草』植栽などの活動をしています。

黒川中地区では、『友愛会』に刺激を受け、住民同士の連帯意識が強まり、地区・各団体ともに活動が活性化してきました。また、見守り隊の活動により、地域の防犯意識が高まったと同時に、あいさつ運動も高まりを見せています。

蛸井会長は「長年、地区の中で培ってきた知識や経験を生かして、今後もあるい故郷づくりと、会員の生きがいづくりを目指して活動していきたい。」と話されていました。



▲農地環境保全活動の様子

山形県・県民福祉大会 会長表彰

羽黒地域「福寿草の会」



▲「福寿草の会」会員のみなさん

山形県社会福祉協議会では、毎年、『山形県・県民福祉大会』を開催し、永年、社会福祉事業に努力を続けてきた個人・団体を表彰しています。

今年度は、十月二十五日に寒河江市市民文化会館にて行われ、鶴岡市からも多くの方々が表彰されました。その中から社会福祉事業協助・奉仕者として会長表彰を受章した羽黒地域ボランティアグループ『福寿草の会』（佐藤進会長、会員十九名）を紹介します。

『福寿草の会』は平成四年から活動を始め、今季で十九年目を迎えました。

毎年十月から三月の冬季間、一人暮らし高齢者の希望者にお弁当を届け、安否確認や話し相手になりながら活動をしています。

佐藤会長は、「高齢者の皆さんと顔見知りになり、言葉を交わし、安心を少しでも感じてもらうことが出来れば」と会員の皆さんとともに活動を行なっています。また、昨年度に手作りクリスマスプレゼントを作成し大変喜ばれたことから、今年度も実施しています。「これからも、高齢者の『ありがとう』の声と笑顔を大切に、そして会員みんなが明るい笑顔・温かい心を届けながら活動をしていきたい。」と話されています。



▲ケーキ作りの様子

高齢社会フォーラム・イン仙台 社会参加章

鶴岡地域「山王東部お茶のみサロン」

内閣府では、毎年、全国各地で『高齢社会フォーラム』を開催し、高齢者がいきいきとした生活を送るために参考となるような活動事例の紹介を行っています。

今年度は全国二会場で行われ、十月二十九日には仙台市情報・産業プラザで「少子高齢社会におけるシニアの役割」をテーマに開催されました。東北各地の三個人・四団体が紹介された中に鶴岡市の『山王東部お茶のみサロン』（五十嵐節子代表）の活動事例が選ばれ、事例発表を行うとともに内閣府から社会参加章を授与されました。

今回のフォーラムについて五十嵐代表は「受章は町内の絆、町民が仲良くしているということが評価されたのだと思っています。また、事例発表をとおして私達の活動を広く知ってもらうことができ嬉しく思います。」と語って下さいました。

山王東部お茶のみサロンは、山王日枝神社の社務所で毎月一回開催し、平成十四年の立ち上げから現在まで休まず活動を続け、昨年十二月で一一七回目の開催を迎えたことが自慢です。毎回二十名前後が参加して、おしゃべり

や季節にちなんだ献立の会食などを楽しみながら参加者同士交流を深めています。また、開催することに会報を発行して町内全戸に配布し、皆さんから喜ばれています。

サロンへの参加は、地域の高齢者の閉じこもりを防止し、社会参加をとおして高齢者自身のいきいきと充実した生活や支え合う地域をつくっています。五十嵐代表は「これからも地道な活動を続けて、サロン開催の回数を重ねていきたいと思えます。今回のフォーラムなどを機にいろいろな所でサロンが立ち上がり、福祉のまちがつくられることを願っています。」と話されていました。



▲「山王東部お茶のみサロン」メンバーのみなさん

年頭のごあいさつ

「新しい年の幕開けにあたって」

会長 富樫 毅

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと存じます。今、社協では地域福祉活動計画の策定のため、策定委員会の各分会での議論、住民座談会の開催など精力的に進めています。この計画はこれからの地域福祉活動の指針となるもので、市民の皆様が大いに力を発揮できる具体的な計画にしたいと考えています。地域福祉を推進していくための大きなテーマの一つに「コミュニティのちから」をどう強めていくのか、があります。「コミュニティのちから」とは何だろう？」これまで、私自身何度も問い返してきました。学区・地区社協の皆さんとの議論で感じた一つの答えは、当然のことながら「自分たちのことは自分たちでよくしていくのだ」という決意と地道な活動こそが「コミュニティのちから」なのではないかというものでした。各地で市民の皆様が力強い実践が展開されています。例えば県内で初めての泊り込みの避難所体験、要支援者マップづくり、安心カートの配布、学区の活動計画づくりなどが先駆的に進められています。一方、関係団体等とのネットワークづくりを課題としてあげることができません。

平成二十三年度は活動計画のスタートの年であります。誰もが住みなれた地域で安全、安心な生活ができますよう、市民の皆様とともに将来を見据えた着実な地域福祉の推進に取り組んで参ります。

市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ただ今策定中



「地域福祉活動計画（市社協）」の策定に向け、取り組んでいます。地域の皆さんの「今、地域ではどんなことが行われているのか」や「どんなことが課題になっているのか」などの声を聞きながら、地域の皆さんの力でできること、市や市社協が一緒になってできることなどを地域の皆さんと一緒に考え、『地域福祉活動計画』をつくりあげていきたいと思っています。

- ◇鶴岡市は、平成十七年十月に合併し、ちょうど五年が経過しています。鶴岡市の高齢化率は現在28%を超え、まもなく30%を超えると見込まれ、農漁村部だけでなく、中心市街地でも高齢化率が40%を超える所が出てきています。
- ◇このように市内全域で少子高齢化が進む中、今年度、『鶴岡市』と『鶴岡市社会福祉協議会』とが連携・協働し、鶴岡市の今後五年先（平成二十三年度〜平成二十七年年度）を見通した「地域福祉の道しるべ」となる福祉の計画をつくらうと、『地域福祉計画（鶴岡市）』・『地域福祉活動計画（市社協）』の策定に向け、取り組んでいます。
- ◇地域の皆さんの「今、地域ではどんなことが行われているのか」や「どんなことが課題になっているのか」などの声を聞きながら、地域の皆さんの力でできること、市や市社協が一緒になってできることなどを地域の皆さんと一緒に考え、『地域福祉活動計画』をつくりあげていきたいと思っています。

② 在宅ケア・地域生活支援

在宅ケアを推進するために必要な条件整備、また相談支援体制など、安心して在宅で生活を送るために必要なサービスを検討していきます。

計画づくりの3つのテーマ

◇今回の計画づくりでは「高齢者」「障がい者」「子ども」という対象者別に分けて考えるのではなく、対象者の枠を超えて、次の3つのテーマを設定し進めています。

このテーマに沿って地域の皆さんの声を反映しながら「地域福祉活動計画」としてまとめていきます。

③ 青少年・未来創造

これからの鶴岡を担う若者への支援を考え、若者が集える居場所づくり、また将来、鶴岡に帰ってきたいと思えるような就労の場を含めた環境づくりなどについて考えていきます。

① 地域支えあい・協働

地域における要支援者の見守りネットワークのあり方を考えていくとともに、個人情報保護などの課題の整理をしながら、その地域にあった見守り支援体制を考えていきます。

「地域福祉活動計画」

これまでの取り組み内容

「地域福祉活動計画」の策定にむけ、地域の皆さんからもご協力をいただきながら、次のような取り組みを行ってきました。

◆これまでの計画の検証

合併前までに策定した今までの地域福祉活動計画の進捗状況の検証を行いました！



地域福祉活動計画
旧計画検証報告会の様子

◆課題調査の実施①

市職員・市社協職員の合同チームで、市内三〇程の町内・地区におじゃまし、地域の課題・ニーズの把握を目的に、「住民座談会」を開催しました。

ここで伺った地域の皆さんの声が計画づくりの基礎になります！

♪住民座談会で出された主な声♪

- 各地域におけるさまざまな課題等をお聞きすることができました。
- 町内会行事への若い人の参加が少ない！
- 隣組の関わりが薄くなった。

空き家が問題になっている。

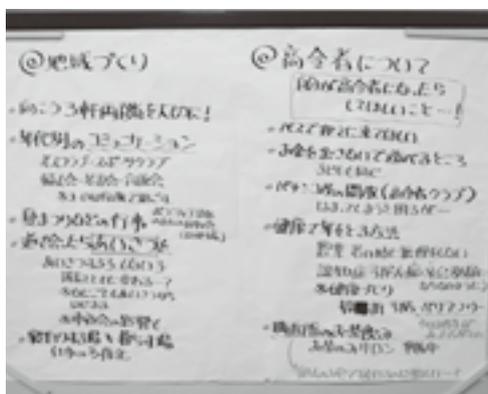
子どもが少なくなった。

一人暮らしで心配な高齢者がいる。

♪ある「住民座談会」の様子♪



話し合いの風景



座談会ごと、話し合った内容を大きな紙にまとめ整理する

◆課題調査の実施②

住民座談会開催のほか、障がい者・子育て支援センター等にヒアリング調査を行い、また、企業、NPO、ボランティア団体、中・高校生を対象にアンケート調査を行い、幅広く現状について伺いました。

◆策定委員会の開催

さまざまな団体の代表の方々からお集まりいただき、職員と一緒に、計画づくりに向けた話し合いを行います。



策定委員会の様子

◇今後、住民座談会やヒアリング・アンケート調査をとおして皆さんからお聞きしたさまざまな声や課題などの整理・分析を行い、「策定委員会」などで話し合いを重ねながら、今年度内の完成を目指して、計画づくりを進めていきます。

情報掲示板

鶴岡地区福祉バス抽選会(4月～6月分) 事前申請受付のお知らせ

鶴岡地区福祉バス 抽選会(4月～6月予約分)のための事前申請を次の日程で行います。

●申請期間 平成23年1月27日(木)～2月10日(木)まで
※1団体1回の予約ができます

●申込み/問合せ

申請書は鶴岡福祉センターに準備しております。
(市総合保健福祉センターにこ♥ふる2階)

☎24-0053 FAX23-9110



応援します!除雪ボランティア活動 小型除雪機・軽トラックをお貸しします

町内会等で行う高齢者・障がい者宅の除雪ボランティア活動を応援するため小型除雪機・軽トラックの貸出を行います。(市内全域に貸出いたします)

<鶴岡福祉センター>

●料金 小型除雪機 1回につき200円
軽トラック 1回につき300円

●貸出期間 1回につき3日以内

●問合せ 鶴岡市ボランティアセンター
(市総合保健福祉センター にこ♥ふる2階)
☎23-2970 FAX23-9110

<藤島福祉センター>

●料金 小型除雪機 1回につき200円

※軽トラックの貸出しは行っていません。

●貸出期間 1回につき2日以内

●問合せ 藤島福祉センター ☎64-3100 FAX64-5706



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。

(平成22年10月21日から平成22年12月20日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

・庄内なつメロ会 様 100,000円
・宮澤 登 様 300,000円
・鶴岡市立荘内看護専門学校看学祭 様

・本間 光子 様 座布団10枚
・五十嵐 みよし 様 タオル176枚
・藤島小学校・東栄小学校・長沼小学校・
渡前小学校 様 38,194円

◎羽黒福祉センター

・田川建設労働組合羽黒支部 様 6,000円

◎榊引福祉センター

・蛸井 清 様 ジュニアシート1台
・三浦 芳子 様 手づくり枕カバー28枚

◎朝日福祉センター

・田川建設労働組合朝日分会 様 16,800円

★老人デイサービスセンターふれあいへ

・芳賀 秀一 様 12号の絵画(日本画 赤富士)
・榎本 豊男 様 肩用マッサージ器

★地域福祉センターなえづへ

・上郷生活学校 様 タオル39枚

★鶴岡市ゆうあいプラザへ

・成澤農園 様 りんご・柿各1箱

★高齢者福祉センターおおやまへ

・長谷川 吉廣 様 100,000円、
リクライニング式車いす、加湿器

・白幡 一 様 花器2点

★くしびきデイサービスセンターへ

・庄内を訪ねる会 様 鮭2本

・(有)久上・工藤商店 様 豚バラ肉2kg

・(有)ヤママル成澤水産 様 ホタテ6kg

・産直あぐり 様 柿ジュース120本

★特別指定寄附(きらり宝町・デイセンター じゃがいも・工房せい・作業所月山へ)

・庄内ヤクルト販売㈱ 様 200,000円

◎藤島福祉センター

・曹洞宗山形県第三宗務所 様 50,000円
・藤島民謡会 様 20,000円
・藤島地域婦人会 様 5,000円
・富樫 忠夫 様 タオル36枚
・早坂 清輔 様 タオル25枚

「うさぎの正月」

真っ白な雪の上を
兎生(人生)の足跡を残し
家族みんなで初詣。
今年も仲良く健康で良い
年になりますように。

今年が兎の年。

私たちを取り巻く環境も
自然破壊、少兎、高齢化の
中で大変です。さっそく
「おだがいさま」の心で
支えあいの会議を開きます。

人間社会も私たちから見る
と、大変ですね。

経済の豊かさ、便利さの中
で本当の豊かさ、生き方が
問われていると思います。

豊かな自然と人情豊かな

「ふるさと」

「うさぎ追いかの山」

「こぶな釣りしかの川」

あの頃は本当に良かった。
今年を着実に歩む亀に負け
ないように居眠りをしないで
頑張ります。

(Y・S)

◎ほっとコラム

おだがいさま

第32号

平成23年1月15日発行

発行部数 49,500部

編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号(にこ♥ふる2階)

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

榊引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。